

# 金山町立金山中学校 第9号

## 学校だより

令和4年12月5日発行  
発行責任者:金山中学校長

### 大島柑楠さん 「税についての作文」 祝 福島県教育長賞受賞

令和4年度 中学生の「税についての作文」において、大島柑楠さん（3年）が福島県教育長賞を受賞しました。中学生の「税についての作文」は租税教育の推進の一環として毎年行われておりますが、今年度は福島県内で 4,166 編の応募があり、その中から見事選出されました。題名からも大変興味を惹かれる柑楠さんの作文を、是非ご一読ください。

父が年二兆円の一部を

納税している話

大島 柑楠

私の父は喫煙者です。健康への被害はもちろん心配ですが、母が言った「タバコは高い。」という言葉が気になっていました。母になぜタバコは高いのかと聞くと、税金がかかっているからと教えてもらいました。

今回、税金の作文を書くにあたって税金の種類を調べました。私知っていたが、改めて見ると本当にたくさん種類の税金があることが分かりました。その中に、母が言っていたようにたばこ税を見つけました。

たばこ税について調べると、『食料品などのような生活必需品とは異なる特殊な嗜好品としての性格に着目して、国及び地方においてたばこ税等を課していますが、その税収は、国税と地方税のそれぞれにおいて、年間一兆円（合計二兆円）程度であり、国と地方の貴重な財源の一つとなっています。』と書いてありました。

つまり、私の父はタバコを買うことで、年間二兆円の税金の一部を国と地方に納税しているということになりそうです。いとこと二人で調べていた私は本当にびっくりしました。

私は早速父に、「タバコを買うと、年間二兆円の一部を納税していることになるんだよ。」と伝えました。すると、「ふーん。そうなんだね。」と言われました。残念ながら、父には響かなかったようです。しかし、これがきっかけとなって父にタバコを辞めるよう話す機会が増えました。すぐには無理かもしれませんが、少しずつタバコを辞めて、長生きして欲しいです。

今回は身近に感じたたばこ税を主に調べましたが、私が十二歳の時に八パーセントから十パーセントに増税した消費税はなぜ増税したのかということも気になっていたので、いとこと調べたら、高齢化が進み、財源の確保が大変になったためだと書いてありました。たばこ税の説明にも書いてありましたが、税金は、国や地方を整備するための財源とし

て設けられている制度なんだなと思えました。もっとたくさんの方が書いてあったので、いつか改めて自分で調べてみようと思います。

今まで、私は税金なんてまだ関係ないと思っていましたが、消費税はもちろん父が払っている酒税やたばこ税、身近にある税金はまだまだ沢山あるということを知りました。また、ネットで調べた程度ですが、書いてあることが少し難しかったことが気になりました。学校でも社会科で税金のことは学ばれていると思いますが、分かりやすく書いてあるといいなと思いました。これからも父を説得しながら勉強を続けていこうと思っています。



## 生徒会役員・後期学級役員任命 ～新体制で新たな伝統を～

生徒会役員の会長・副会長・書記・会計の役職にそれぞれ1名ずつ立候補があり、11月14日に行われた立会演説会では、「学校をもっと明るく、楽しい空間にしたい」「全校生徒で楽しめるイベントを開催する」などの公約が述べられました。11月21日には、生徒会役員選挙によって決定した生徒会役員と、後期学級役員との任命式が行われました。生徒会役員4名と各学年の委員長・副委員長それぞれに任命状が手渡され、前任の生徒会役員や前期学級役員の役職を引き継ぎ新体制で動き出したところです。金山中学校の良き伝統を受け継ぎながらも、生徒会役員、学級役員のそれぞれが常に課題意識を持ち、学校・学級をよりよくするために尽力してほしいです。



## Society5.0を逞しく生きるために

狩猟社会 (Society1.0)、農耕社会 (Society2.0)、工業社会 (Society3.0)、情報社会 (Society4.0) という人類がこれまで歩んできた社会に次ぐ、5番目の新たな社会を Society5.0 と言います。この社会は、サイバー空間 (仮想空間) とフィジカル空間 (現実空間) を高度に融合させたシステムにより実現する社会であると言われています。

令和に生きる子どもたちは、生まれたときからパソコンやスマートフォンなどが身近に有り、インターネットを使ったゲームや通信などを自由自在にこなして成長しています。ビデオや画像などが簡単に手に入りやすく、自らの興味・関心に応じてさまざまな知識を身に付けることができます。

一方で、信頼性の低い情報を鵜呑みにしたり、顔が見えない相手との通信等で危険な状況に追い込まれたり、通信方法を間違えて大切な友だちから信頼を失うなどの負の部分も多くあります。さらに、多くの人と話し合い協働することが苦手で、知識はあるがコミュニケーションがうまく取れず人間関係を築く力が身に付かずに大人になってしまうことも心配されます。

令和の時代は、これまで人類が培ってきた文化や伝統に加えて、新たな価値観やものが次々に創り出されることでしょう。AI (ロボット) が出現し私たちの生活そのものが予想を超えるスピードで変化していくと言われています。

こうした時代を生きる子どもたちには、コミュニケーション能力と自らの考えを発信できる言語力 (日本語や外国語) が必要です。さまざまな人と関わり、価値観や考えに触れ、深く考えることが大切です。

これまでの教育で培ってきた良さを継承し、新しい環境のなかで子どもたちが逞しく幸せに生きるために必要な能力を育てていきたいと思います。